

令和4年度決算に基づく 特別会計・企業会計

特別会計の概要

特別会計(10会計)決算額を合計すると、歳入が290億8,433万3千円で前年度と比べて11億4,677万4千円(3.8%)の減少となり、歳出が287億2,385万6千円で前年度と比べて10億8,763万5千円(3.6%)の減少となりました。

会計名	歳入(A)	歳出(B)	差引額(A-B)
国民健康保険特別会計(事業勘定)	137億6,551万3千円	137億6,551万2千円	1千円
国民健康保険特別会計(直診勘定)	3,802万9千円	3,802万9千円	0円
古河福祉の森診療所特別会計	1億2,251万9千円	1億2,139万1千円	112万8千円
後期高齢者医療特別会計	17億4,517万円	17億4,395万2千円	121万8千円
介護保険特別会計(保険事業勘定)	110億446万2千円	107億2,884万6千円	2億7,561万6千円
農業集落排水事業特別会計	8億6,844万5千円	8億5,065万5千円	1,779万円
ゴルフ場事業特別会計	9,841万8千円	9,486万6千円	355万2千円
古河駅東部土地区画整理事業特別会計	12億4,527万9千円	11億9,455万8千円	5,072万1千円
公共用地先行取得特別会計	1,423万5千円	1,423万5千円	0円
仁連地区新産業用地開発事業特別会計	1億8,226万3千円	1億7,181万2千円	1,045万1千円
合計	290億8,433万3千円	287億2,385万6千円	3億6,047万7千円

企業会計の概要

上下水道事業は法律で「地方公営企業」と位置付けされており、事業に必要な経費は、原則として水道料金や下水道使用料などの収入で賄う「独立採算の原則」に基づき運営されています。

会計名	収支(消費税込)	収入(A)	支出(B)	差引額(A-B)
水道事業会計	収益的	27億5,515万1千円	23億5,391万4千円	4億123万7千円
	資本的	5億5,087万円	13億8,495万円	△8億3,408万円
下水道事業会計	収益的	33億1,248万2千円	32億2,894万1千円	8,354万1千円
	資本的	16億1,643万2千円	25億4,008万1千円	△9億2,364万9千円

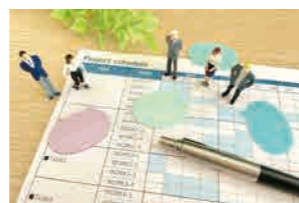
【問】 水道課(三和浄水場)Tel76-3780、㊟下水道課Tel76-1511

事業評価を実施しました

令和4年度に行った市の事業を対象に事業評価を実施しました。事業評価とは、事業の目的や効果の達成状況を基に指標を設定して評価を行うものです。

評価結果は市ホームページおよび㊟企画課で閲覧できます。

【問】 ㊟企画課Tel92-3111



令和4年度決算に基づき算定した 財政健全化判断比率

実質赤字比率

一般会計等の実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです

連結実質赤字比率

全会計の実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです

将来負担比率

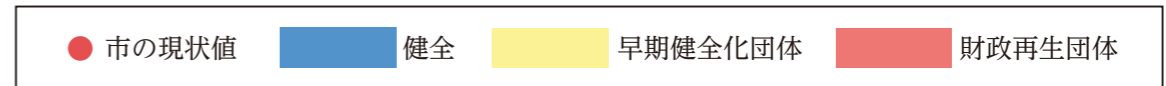
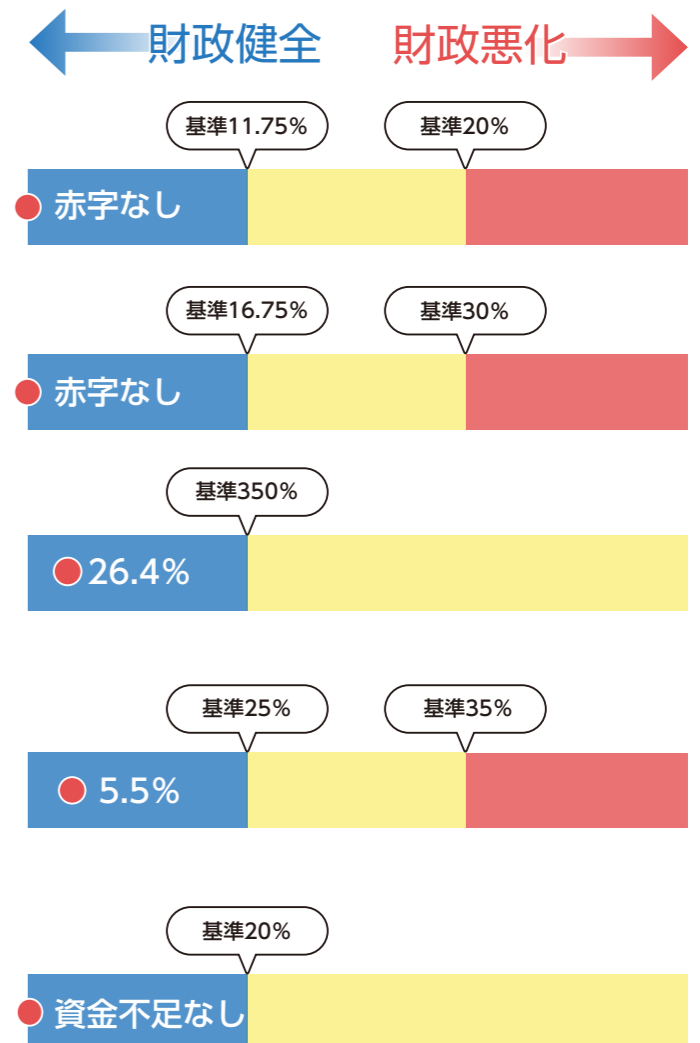
一般会計等が抱える実質的な負債の残額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです

実質公債費比率

一般会計等の実質的な借入金の返済額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです

資金不足比率

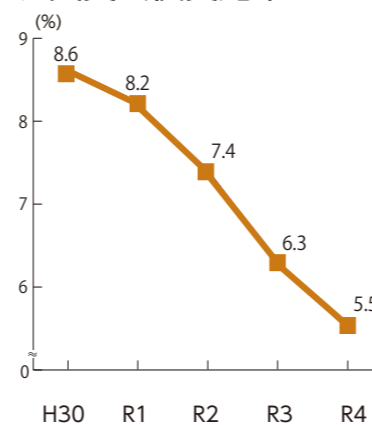
各公営企業会計の資金不足額が、料金収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです



【令和4年度決算に基づく現状値】

市の財政状況を表す現状値は、全て国の基準で「健全」とされる範囲内です。今後も、将来にわたって持続可能な財政運営を図っていきます。

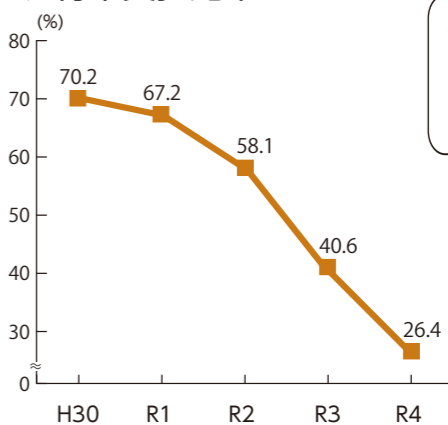
▶実質公債費比率



市の実質的な借入返済額は減少傾向にあり、今後も減少する見込みです



▶将来負担比率



返済により負債が減少しているため、将来負担する負債の割合も減少してきています

